

アロマテラピーや香料だけでなく、害虫を防ぐ効果も。

< 植物名 >

ラベンダー
レ-スラベンダー

水やり

土の表面が乾いたら、水をたっぷり与える。

置き場所

風通しがよいところに置く。

用土肥料

通水性のよい、腐植質の少ない土を用いる。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

さし木、株分け、タネまき

冬越し

寒さには弱いため冬は0 以上を保つ。

使い方 花壇、鉢植え、切花、ドライフラワー

学名 lavandula

英名

属名 ラウアンドウラ

科名 シソ

性状(分類) 常緑木本

原産地 地中海沿岸、カナリア諸島、アジア南西部、インド

花の色 青、紫、白

開花期 5～9月

購入時期

草丈 30～100cm

ID 448

季節 春 夏 秋

JFコード 42883



冬越しと置き場所

風通しがよいところに置き、通水性のよい、腐植質の少ない土を用いる。寒さに弱いため、冬は0 以上を保つようにする。

その他の解説

ラベンダーの香りは鎮静効果があるといわれ、アロマテラピーに利用されている。また、石鹸や化粧品香料、香水の材料にも使われている。また、その香りは花だけでなく、葉や茎にもあり、害虫を防ぐ効果もある。

特徴1

香りが良く、アロマテラピー、香料等に使われる。土の表面が乾いたら、水をたっぷり与える。

特徴2

羽のような形の銀葉が特徴である。香りはあまり強くないが、草姿に人気がある。茎の上部は分岐しており、青や紫の小さな花が集まって輪散花序をなし、その一茎に複数の花穂がつく。ラベンダーの仲間では暑さに強いタイプだが、寒さには弱いため冬は0 以上を保つ。